地域で生活する障害者を応援する
「からしだね館」の旬な情報をお届けする機関誌

からしだね通信

vol.47
3
2018

京都御苑の紅梅

もくじ

◇センター・ワークス報告
◇特集　からしだねクリスマス会

過ちを認めること

『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎著）という本が話題になっています。最近メディアにも取り上げられて、漫画版はミリオンセラーだそうです。私も先日、岩波文庫になっているもの（戦後改訂されたもの）を読んでみました。まず、驚いたのが、この本が、日本が戦争に突き進んでいく１９３７年（昭和１２年）という暗黒の時代に刊行されたということです。社会の様々な事象を、想像力をもって科学的な視点で見ていくことの大切さや、人間の尊厳と言ったことを、子ども向けに（と言っても十分大人にも伝わります）書いたものですが、子ども向けとは言え、この内容で、よくもまあ、あの時代に出版が出来たものと思います。（あえて子ども向けの体裁にしたのかも？）。しかも、現代の我々が読んでも、否、今の時代だからこそ、胸に迫ってくるものがあります。

その中で、特に私の心に残ったのが、「雪の日の出来事」というエピソードでした。主人公のコペル君（中学生）が、上級生にいじめられている友だちに対し、見て見ぬふりをしてしまい、後悔と自己嫌悪にさいなまれるというところです。悶々としているコペル君に、いつもアドバイスをくれる叔父さんが言います。「また、過ちを重ねちゃあいけない。コペル君、勇気を出して、他のことは考えないで、今、君のすべきことをするんだ。」コペル君は行動を起こします。友だちに謝罪の手紙を出したのです。友情を失うのは覚悟で。叔父さんは、あとで、こう言います。「自分の過ちを認めることはつらい。しかし、過ちをつらく感じるということの中に、人間の立派さもあるんだ。」

今、私たちの社会で、もっとも忘れられていること。それは、過ちを認めること、ではないか、と思います。私たちの国が、愚かで悲惨な戦争をしたのは、そんなに昔ではありません。原発事故も、ついこの間のことです。でも、そんなことまるで無かったかのように、私たちの社会が、どこかへドンドン進んでいるような気がして心配です。

理事長　坂岡　隆司

センター活動報告

センター職員・二木が自立支援協議会研修会に参加しました

今回の研修では「こどもの里」に通う子どもたち、またそこに住む子どもたちの日常の様子をありのままに描いた映画「さとにきたらええやん」の上映会に併せて、館長を務める荘保さんの講演を聴きました。貧しさや困難の中でも一生懸命生きる子どもたちのパワーに胸が熱くなりました。参加してくださった皆さんからも良い研修会だったとのお声を頂戴しています。「こどもの里」がある大阪市西成区は日雇い労働の街と呼ばれてきました。親の貧困ゆえに、子どもたちが困難な状況の中で生活をせざるを得ない現状があります。

私は一昨年、「こどもの里」の見学をさせていただきました。「誰が来てもいいよ」と玄関を開けておられ、学校が終わる時間に合わせてたくさんの子どもたちが集まってきました。性別、年齢、国籍、障害の有無関係なく皆が戯れている空間に本来の子どもの姿を見ている気がしました。貧しいと言われている地域かもしれませんが、そこに住む人たちが持つ力強さを感じました。また、こどもの里の存在が心の豊かさを生み出しているようにも感じました。

館長の荘保さんは「子どもたちの目の輝きに圧倒された」と言います。困難を跳ねのけようとする力や他者を慰め、慕う力はこの地域に生きる子どもたちが持っている強みなのではないかと思います。どんな困難な状況でも目を輝かせて生きることが出来るのは幸せだと思います。人と人との繋がりが分断されつつある今の社会で、人と繋がることの大切さを再認識させられた気がします。

映画上映会は全国各地で開催されています。ぜひ、ご覧になってください。

『こどもの里』とは…

大阪市西成区の通称“釜ヶ崎”にある「こどもの里」。1977年にカトリック教会の修道会による日雇い労働者の街に子どもたちが安心して遊んで学べる場所「子どもの広場」としてスタートした。現在は、NPO法人の活動として地域の子どもたちが通ってくる遊び場としての学童保育事業とともに緊急一時宿泊施設、ファミリーホームとして地域になくてはならない“さと”になっている。（クリスチャン新聞オンライン、2016年6月1日付記事引用）

センター主任より

からしだねセンターでも「子ども」に関わる機会が少なくありません。子どもの置かれている環境の厳しさに言葉を失うことがあります。

子どもの環境は周囲の大人によって大きな影響を受けます。親や教師だけが「周囲の大人」ではありません。地域の住民や私たちのような医療や福祉の関係者も、子どもの暮らしにとっては影響力のある大人になります。

たった一人の大人が子どもに苦しみを与えることがあります。けれども、たった一人の大人が、子どもに希望を与えることもできます。

親との関係に苦しむ少女がいました。親の気分に翻弄される毎日に、18歳の心は限界にきていました。「親と離れて暮らしたい」と彼女が言った時は、ぎりぎりの精神状態でした。支援者に連れられ、援助ホームに見学に行きました。優しそうなホームの所長さんに「親に振り回されず、親のせいにもできない環境で、自分の暮らしをしてみなさい。」と言われました。その場で彼女は自分の将来のために親と離れて暮らす決心をしました。

始めて会った大人の一言でしたが、18歳の少女が自分の人生を踏み出すきっかけになったのかな、と思います。

子どもたちの生活に、これからも心を向けて行きたいと思います。

ワークス活動報告

雑貨づくり

hand craft

ワークスではたくさんの人が様々な雑貨づくりに取り組んでいます。出来上がった商品はカフェの店頭や外販で、じわじわと売れるようになってきました。では、その一部をご紹介します。

プラ板アクセサリー

よく売れてます

ミニチュアフード

樹脂粘土で作ってます

市島さんにお聞きしました

【市島聖子さん】
カフェ・製菓で活躍されていますが、手芸もお得意です。からしだねでは、主に編み物で小物雑貨を作ってくださっています。

Q. 手芸はいつ頃からされていますか？
「小学生の頃からです。手芸クラブに入って、棒針編み物やビーズ手芸などをしていました。中高生の頃は少し手芸から離れていました。かぎ針編み物は、10年くらい前から始めました。」

Q. 家でも何か作っていますか？
「消しゴムはんこや、UVレジンを使った小物を作っています。ほとんどが試作や練習として作っています。」

Q. 細かい作業が多いですが、疲れませんか？
「2時間くらいだと特には疲れませんね。出来上がっていくところを見ていると、疲れも吹っ飛びます！」

Q. これから作っていきたい物（アイデア）はありますか？
「からしだねでたくさん糸をもらったので、これで何か作れないか考えています。例えばミサンガとか」

Q. 作るということに関して、何かこだわりはありますか？
「誰かにプレゼントするときには、例えば『元気になって欲しい』など思いや願いを込めて作っています。プレゼントして喜んでもらえたらうれしいですね。」

Q. 手芸を始めようとしている人に何かアドバイスをお願いします。
「アドバイスなんておこがましいです。ぜひ一緒に作りましょう。」

ワークス主任より

からしだねワークスの活動に関心を持ち、ご支援・ご協力いただき有難うございます。

3月は年度を締めくくる月で、計画したことがどれくらい達成されたのか？やり切れなかったことが何で、どれくらい残されているのか？振り返ると同時に新しい年度の計画を立てていく時期でもあります。売上げなどの数字はとても大切ですし、数字から読み取れる様々なこともあります。少しでもたくさんの工賃が欲しいと誰もが願いつつ、お金を稼ぐことの厳しさを味わう中で、金額以上の大切なもの（充実感、喜び、感謝、悔しさ、踏ん張り、意欲、絆、安堵、我慢、手応え等々）をそれぞれに感じ、味わった一年だったと思います。数字にばかり拘ると見えなくなるものもたくさんありますが、これからもバランスよく考え、見渡し、取組んでいきたいと思っています。周りから見て気付かれる事があれば、良いところも、改善すべきところも遠慮なく教えていただければうれしいです。

今後ともからしだねワークスをどうぞよろしくお願い致します。

からしだねクリスマス会

毎年恒例！からしだねクリスマス会を開催。
過去最高の参加人数で、賑やかな楽しい会になりました。
ご協力くださった皆様ありがとうございました。

第1部

「永田さんによる司会進行」
司会担当者が突然の体調不良…
急遽、ピンチヒッターの永田さんが
司会をしてくださいました！

受付
まずは受付をしてから、クリスマス会の始まりです。クリスマスメッセージのプレゼントもありました！

利用者さんによる挨拶
北村さんによる開会の挨拶です。
心温まる素晴らしいお言葉でした。

施設長のひとこと挨拶
もありました。

クリスマスメッセージ
深谷牧師よりクリスマスメッセージを
いただきました。有難うございました。

全体の様子
満席になるほど参加人数でした。
この後、職員力作のDVDを上映！
皆で1年間の思い出を振り返りました。

第2部にうつります！
盛り上がっていきましょう～！

からしだね・御用きき業務です！
お家の内外の
整理
掃除
移動
片付け
分別
草刈り
ペンキ塗り
などなど
ちょっとした困りごとのお手伝いをします。
TEL075-574-4455 まずはお気軽にご相談ください。

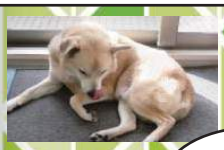
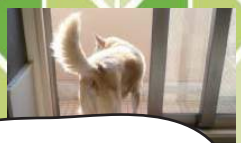
高齢者・配食サービス
安心 ヘルシー 食べやすい
お昼ごはんはいかがですか？
お気軽にお問合せください!!!
からしだね弁当
TEL075-574-4455
担当：田中

♥DEBU*LOVE♥

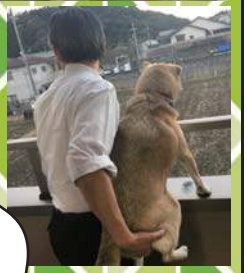
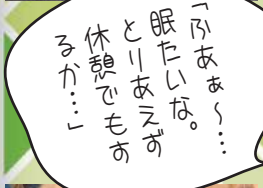
「デブはカメラを向けると、レンズを凝視しながら吠えるので、実は写真を撮ることは至難の業…」

こんな感じ…（笑）

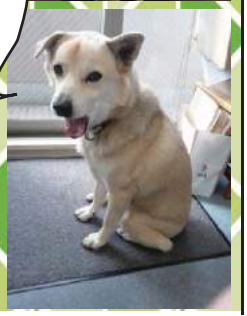
「でも、そんなデブもたまに油断をしてしまいます（笑）ここからは、デブのとぼけた表情写真集です！」

みんなしっかりと仕事してるかぁ～見てるぞぉ

「ふぁぁ～…眠たいな。とりあえず休憩でもするか…」



第2部

「食事の風景」

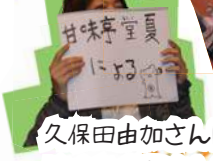
クリスマスケーキ

手づくりのおしるこ

「全体ゲーム」

かんかんゲームで大盛り上がり！

「出し物」



久保田由加さんによる歌の披露！
甘味亭 堂夏さんによるお笑いショー！

「からしだねゴスペルクワイヤー」

みなさん、１年間お疲れ様でした。来年も良い年にしましょう。

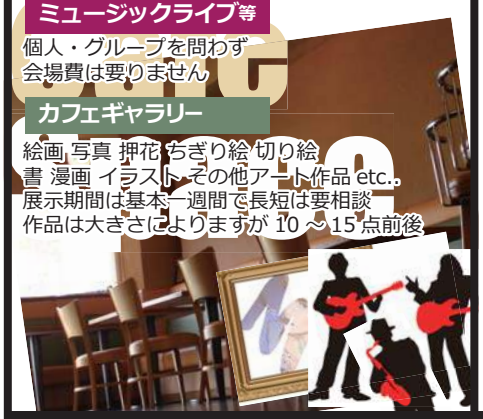
この日のために、皆で一生懸命練習をしました。ずーと聞いていたいような心に響く歌声とピアノ、ヴァイオリンの演奏でした！

オススメメニュー
シフォンケーキ
（アールグレイ（紅茶）・抹茶）
当店で焼き上げたふわふわのシフォンケーキに濃厚な生クリームをトッピング。
くつろぎの時間にどうぞ。
各300yen

cafe triangle

ミュージックライブ等
個人・グループを問わず
会場費は要りません

カフェギャラリー
絵画 写真 押花 ちぎり絵 切り絵
書 漫画 イラスト その他アート作品 etc..
展示期間は基本一週間で長短は要相談
作品は大きさによりますが 10～15 点前後



楽器やコーラスの練習場として！
会合などに！
多目的ホール・地下多目的スペースで貸スペース
10：00-17：00
一コマ［2時間］毎
5,000円～
（ドリンク10杯付）
（事前に打ち合わせいたします）お食事もご用意

問合せなど…カフェスタッフまであるいは TEL 075-574-4455

2018 March 47号 2018年3月1日発行 編集／社会福祉法人ミッションからしだね 〒607-8216 京都市山科区勧修寺東出町75 Tel：075-574-2800 E-mail:karashidane@able.oon.ne.jp URL:http://www.karashidane.or.jp

いつもご協力いただき、ありがとうございます

ご支援　ご協力者様（11月～1月分）

[後援会協力者個人様お名前]

小笹輝子様　藤田明子様　吉田功様
齋藤謙次様　藤野美弥子様
辻貴子様　松盛澄男様

[後援会協力者団体様お名前]

ﾚﾃﾞｨｰｽﾒﾝﾀﾙｸﾘﾆｯｸ一粒の麦　山本裕子様

[法人ご寄贈者様お名前]

榎本貴夫様
福本佐和子様
松田和代様

[法人ご寄付者様お名前]

一筆画雅様
ｲﾝﾏﾇｴﾙ京都伏見教会様
NPO法人CIFジャパン様
株式会社エナテクス様
株式会社エナテクスサービス様
コーラスローズ様
西雲寺様
サウンドエコーズ様
坂岡恵様
坂本正路様
武山世里子様
出村紫野舞様
鍋島愛信様
ヌヴェール愛徳修道会　木場田幸子様
ﾉｰﾄﾙﾀﾞﾑ教育修道女会様
花園大学　免許資格支援センター様
広島県精神障害者事業所職員会様
深谷純一様
深谷与那人様
藤井和子様
松本敬子様

後援会入会のお願い

社会福祉法人ミッションからしだね後援会は、「ミッションからしだね」を応援することにより、地域で暮らす障害者、とりわけ精神障害者の方々をサポートすることを目的とした団体です。後援会の趣旨に賛同していただける方を募集しております。会員様には機関誌やカフェトライアングルの情報、様々な催しのお知らせなどをお届けします。

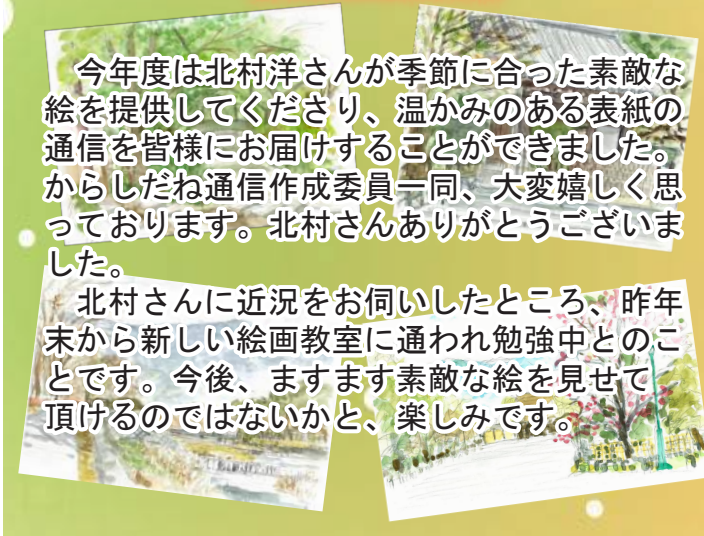
■年会費

個人様　1口　3，600円
団体様　1口　10，000円

■会費振込先

郵便振替
口座番号：00970-2-222380
加入者名：社会福祉法人ミッションからしだね後援会

表紙の絵



今年度は北村洋さんが季節に合った素敵な絵を提供してくださり、温かみのある表紙の通信を皆様にお届けすることができました。からしだね通信作成委員一同、大変嬉しく思っております。北村さんありがとうございました。

北村さんに近況をお伺いしたところ、昨年末から新しい絵画教室に通われ勉強中とのことです。今後、ますます素敵な絵を見せて頂けるのではないかと、楽しみです。

通信をお手にとってくださり、ありがとうございます。また、前号のお便りをくださった皆様、ありがとうございます。からしだね通信を今後もますます良いものにするため、ご意見・ご要望・ご感想をぜひお聞かせください！

どうぞよろしくお願い致します。

送り先は→→
〒607-8216 京都市山科区勧修寺東出町75
「からしだね通信作成委員会」行

次号　6月1日発行です！